

# 経済・金融 フラッシュ

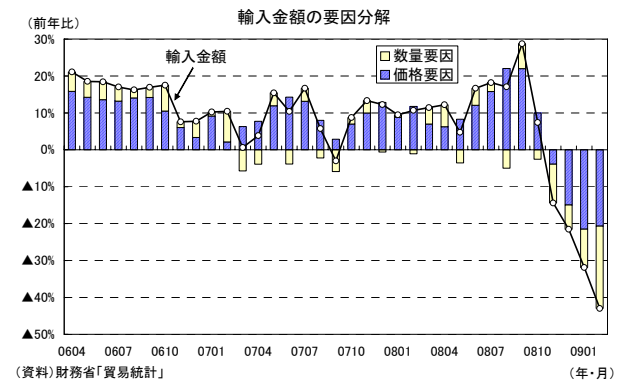
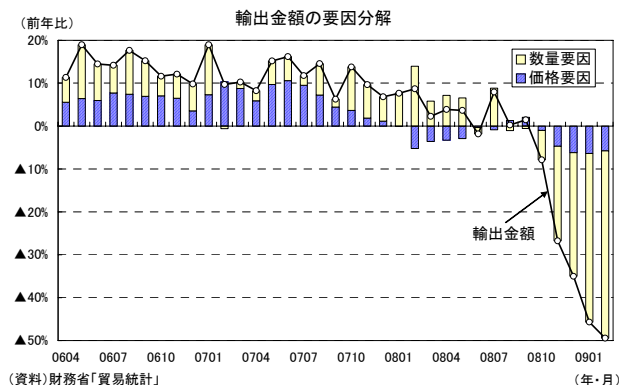
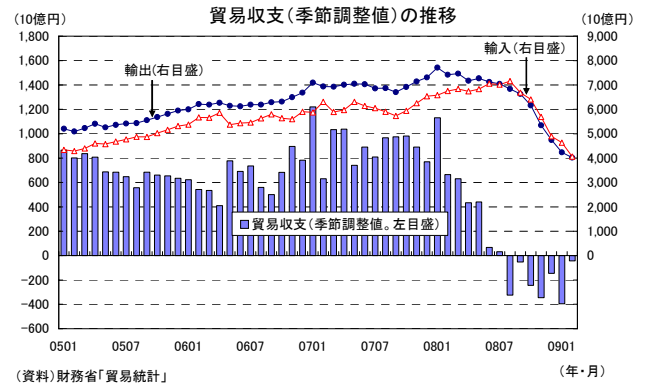
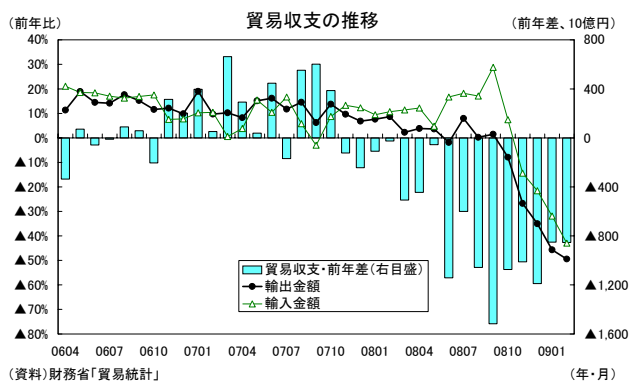
## 貿易統計 09年2月 ～輸出の減少幅がさらに拡大

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 貿易収支の赤字基調は継続

財務省が3月25日に公表した貿易統計によると、2月の貿易収支は824億円の黒字（前年比▲91.2%）となり、事前の市場予想（ロイター集計：▲109億円、当社予想は+1,814億円）を上回った。輸出は前年比▲49.4%（1月：同▲45.7%）と引き続き大幅な減少となったが、円高、原油安、内需低迷を反映し輸入の減少幅が1月の前年比▲31.9%から同▲43.0%へと急拡大したため、5ヵ月ぶりの黒字となった。ただし、季節調整済の貿易収支は▲433億円（1月：同▲3,954億円）と7ヵ月連続の赤字となっており、貿易収支の赤字基調は継続している。



輸出の内訳を数量、価格に分けて見ると、輸出数量が前年比▲45.4%（1月：同▲40.9%）、輸出価格が前年比▲7.5%（1月：同▲8.1%）であった。

輸入は、円高、原油価格下落の影響などから輸入価格が前年比▲23.7%（1月：同▲22.8%）と

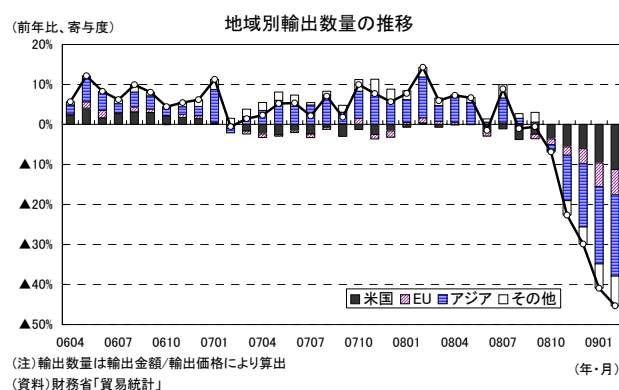
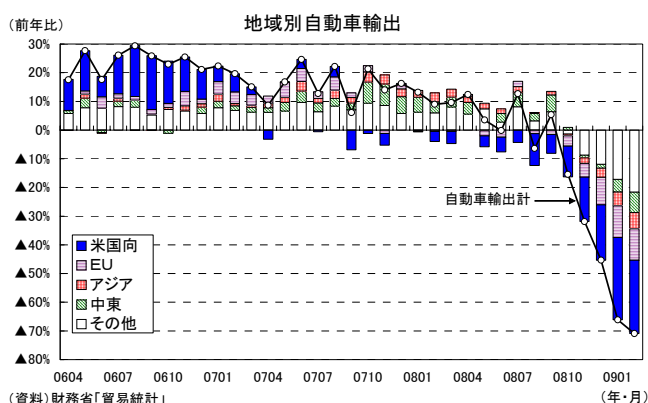
大幅な低下が続く中、国内需要低迷を反映し、輸入数量の減少幅が1月の前年比▲11.7%から同▲25.3%へと急拡大したため、前年比▲43.0%（1月：同▲31.9%）とマイナス幅が拡大した。

## 2. 自動車輸出は前年比7割減

自動車輸出は前年比▲70.9%（1月：同▲66.1%）と減少幅がさらに拡大した。地域別には、米国向けが前年比▲76.6%と引き続き8割程度の減少となったほか、EU向け（同▲74.7%）、アジア向け（同▲61.7%）、中東向け（前年比▲59.2%）のいずれの地域向けも半減以上の落ち込みとなった。

2月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比▲55.5%（1月：同▲48.6%）、EU向けが前年比▲45.6%（1月：同▲42.0%）、アジア向けが前年比▲40.6%（1月：同▲39.0%）といずれも減少ペースが加速した。また、当研究所で試算している主要3地域（米国、EU、アジア）以外の「その他地域」向けの輸出も前年比で50%近いマイナスとなった。

08年10-12月期のGDP統計では、輸出が前期比▲13.8%の大幅減少となる一方、輸入が前期比3.0%の増加となったため、外需寄与度が前期比▲3.0%となり成長率を大きく押し下げた。09年1-3月期は輸出が前期比▲20%程度まで減少幅が拡大するものの、内需低迷を反映し輸入も大幅な減少となることを見込まれるため、外需の悪化幅は10-12月期に比べれば縮小することが予想される。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。